

4/19発行

# 高齢者接種1万5000人

## 国公表の2倍、集計に課題

開始1週間

十一日から始まった新型コロナワイルスワクチンの高齢者接種を受けた人が約一万五千人に上ることが十八日、共同通信の調査で分かった。接種数を把握していない自治体も多く、実際はもっと多いとみられる。約三千六百万人を対象に接種が始まつて十九日で一週間。国が公表しているのは約六千七百人で、二倍以上の差が開いた。

国は接種状況をリアルタイムに把握して一元管理する

調査は、高齢者向けワクチン第一弾の百箱（一箱約五百人分、計約五万人分）

当者は「予診票を回収してからまとめてシステムに入力するところもあり、集計に反映されるまで時間差があるようだ」と説明している。田舎な接種に向けて迅速な情報発信が課題となる。

この結果、全国で二万四

千九百九十四人にワクチンが接種されたことが分かった。ただ六十三の市町村は

厚労省は一定の条件を満たせば高齢者向けワクチンを高齢者施設で働く職員や医療従事者に使うことを認めており、集計にはこれら回答があった。

厚労省は一定の条件を満たせば高齢者向けワクチンを高齢者施設で働く職員や医療従事者に使うことを認めており、集計にはこれら回答があった。

厚労省は一定の条件を満たせば高齢者向けワクチンを高齢者施設で働く職員や医療従事者に使うことを認めており、集計にはこれら回答があった。

30	237	30	-	515	20	962	85	59	40	712	20	837	1728	475	-	70	1330	110	95	253	-	200	276
合計 1万4994人																							

道森手城田形島城木馬玉葉京川瀧山川井梨野阜岡知重  
北海青岩宮秋山福次柄群崎千東神新富石福山長岐静愛三  
賀都阪庫良山取根山島口島川媛知岡齋崎本分崎島繩  
滋京大兵奈和鳥島岡広山德香愛高福佐長熊大宮鹿沖

（一）は不明、単位は人、16日午後時点判明分、共同通信調べ